

(第三種郵便物認可)



火災保険をテーマに開催

愛知県代協(高木勝会
長)は2月2日午後2時

損保8社が自社商品を説明 愛知県代協がセミナー

自然災害による支払い状況も

30分から名古屋市中村区
のキャッスルプラザでセ
ミナーを開催し、同代協
会員と保険会社社員を合
わせ110名が出席した。
今回は最近、自然災害
が多発していることなど
から、初めての試みとし
て損保会社8社(16名)
による各社の火災保険の
商品説明がパネルディス

カッション形式で行われ
た。
前半は、各社の火災保
険(個人・ビジネス用)
の特徴について担当者が
パンフレットをもとにそ
れぞれ紹介した。後半は
昨年1年間に起こった自
然災害の保険金支払いの
状況などについて説明し
た。

全国的な大雪による雪災
で、会社によっては雪災
による保険金支払いでは
過去最大規模になる会社
もあった。このほか、7
月の台風8号、8月の台
風11号も被害が大きかっ
た。さらに8月に広島で
起こった豪雨による土砂
災害では、水災補償を対
象外とした契約をしたた
めに保険金が支払われな
かった場合があったとい
う報告もあった。

会場からは、雨漏りや
給排水設備の水漏れでの
保険金が支払われるケ
スや、水災の場合の地盤面
から45センチを超える浸
水とはどこから45センチ
かなどの質問があった。

昨年1年間の自然災害
に対する保険金支払いで
全般的に一番多かったの
は、2月に起こった関東
地方を中心とした雪災や